

インフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について

- 1 インフルエンザの主な症状について
発熱（38℃以上）、関節の痛み、筋肉痛、喉の痛み、頭痛、全身の倦怠感、鼻水（鼻汁）または鼻づまり、咳など
- 2 コロナウイルス感染症の主な症状について
発熱、鼻水、喉の痛み、せきなどの呼吸器症状、嗅覚異常や味覚異常など
- 3 予防措置
 - (1) 具体的な予防策
うがいの励行、手洗いの励行、アルコールによる手指消毒、使い捨てマスク、人ごみを避ける、健康管理、健康状態の観察（チェック）
 - (2) 可能な限り、各宿舍入り口、大会会場入り口等に手指の消毒薬を設置する。
 - (3) チーム及び個人（参加者）の責任において、うがい、手洗い、マスクの着用、アルコール消毒など予防に努める。
 - (4) 各チーム監督または引率者の責任のもと、別紙（様式1）健康観察記録表により参加選手等の健康観察と記録を行い、常に健康状態を把握すること。（提出の必要はない。）
- 4 大会（事業）期間前の具体的な対応について
感染者及び発病者は、指定された療養期間が解除されるまで、大会（事業）参加はできない。
- 5 大会（事業）期間中の具体的な対応について
 - (1) 大会（事業）期間中の健康観察により、上記1・2のような症状が確認された場合は、直ちに医療機関にて受診する。医療機関において受診後、感染の有無に関わらず、別紙（様式2）受診報告書に必要事項を明記し、鹿児島県中学校体育連盟（以下、県中体連）に報告する。
 - (2) インフルエンザやコロナウイルス感染症等の診断があった場合、関係機関や保護者等と連携し、該当者を安全かつ速やかに帰宅させるなどの対策を講じる。
 - (3) 上記1・2以外でも、体調不良者があった場合、決して無理はさせず、チーム（個人）の引率者や監督が学校や保護者等と連絡を取り合いながら、帰宅させるなどの配慮を行うこと。また、その後も引き続きチーム（個人）の健康観察を行い、参加者の健康状態の把握に努めること。
- 6 その他の対応について
 - (1) 学校閉鎖、学級閉鎖等の状況にある大会参加校・選手については、状況を正確に把握するために、チーム全体の健康観察を迅速かつ的確に実施し、得られた情報を踏まえ、医療機関、教育委員会、当該中学校、当該中体連等で慎重に審議し、選手、チーム等の派遣の可否を決定する。（その旨、県中体連に報告）
 - (2) 感染症に伴い、万が一、参加できない、もしくは途中棄権または辞退せざるを得ないチーム（選手）が出た場合、「いじめ」や「偏見」は決して許されることではないという共通理解のもと、チーム（選手）が責められることがないように、すべての大会関係者で適切な対応に努める。
 - (3) その他の感染症（ノロウイルス等）についても、同様の対応を行う。
 - (4) 感染症において、新たな変異株等が生じた場合、直ちに必要な対応を講じることもあり得ますのでご理解ください。